

修士論文の和文要旨

研究科・専攻	大学院 情報システム学研究科 社会知能情報学専攻 博士前期課程		
氏名	住元 宗一郎	学籍番号	0951009
論文題目	コンテンツ投稿型 SNS における未知性と意外性を考慮した推薦エージェントの開発		
要旨	<p>近年増加したコンテンツ投稿型 SNS ではサービス利用者の増加に伴い、日々膨大にコンテンツが増え続けるため、嗜好には合っているもののユーザが見逃してしまうようなコンテンツは少なくない。</p> <p>このような問題を解決するため、ユーザの嗜好に合ったコンテンツを提示するための推薦システムが、多くのサービスで利用されている</p> <p>しかしながら、多くの推薦技術では精度を重視するあまり、その推薦結果に面白みがないという課題がある。</p> <p>推薦システムの利用者の満足度には従来の利用者の嗜好を予測するアルゴリズム以外に、推薦リストに対する「未知性」、「意外性」の評価も重要であると言える。</p> <p>このような問題を踏まえ、本論文では、コンテンツ投稿型 SNS における未知性、意外性を考慮した推薦手法について述べる。</p> <p>未知性に関しては、質の高いコンテンツを投稿する投稿者(有力投稿者)に注目し、コンテンツの質を確保しつつも、ユーザがまだ知らないロングテールのテール部分に属するコンテンツを推薦することを目的とする Novelty 推薦部を提案する。</p> <p>意外性に関しては、多くのコンテンツ投稿型 SNS で利用されている Folksonomy を利用し、嗜好に合致しているがユーザが推薦されるとは思わなかったコンテンツを推薦することを目的とする Serendipity 推薦部を提案する。</p> <p>以上の2つの推薦部からなる推薦エージェントを提案し、イラスト投稿型 SNS である Pixiv の実データを用い、未知性、意外性に関する評価実験を実施した。その結果、推薦リストの6割に未知性、意外性のあるコンテンツが含まれ、本研究の有効性が確かめられた。</p>		